

## 若手奨励賞受賞者一覧

回/年	氏名	所属機関名・職名	業績名
第1回 (1996年)	東 俊晴	広島大学医学部麻酔・蘇生学教室	血管内皮細胞の酸素ラジカル曝露における一酸化窒素(NO)の相反する役割
第1回 (1996年)	紅露 伸司	札幌医科大学医学部麻酔学教室	ハロセンの血小板凝集抑制機序
第1回 (1996年)	西原 功	大阪医科大学麻酔科学教室	痛みとプロスタグランジン
第2回 (1997年)	原 直樹	大阪医科大学麻酔科学教室	高用量モルヒネによる allodynia の発現機構の解明
第2回 (1997年)	山内 正憲	札幌医科大学麻酔学教室	ラット大脳皮質培養神経細胞におけるグルタミン酸による NO 産生と神経細胞死に対するケタミンの保護作用
第3回 (1998年)	渡邊 至	横須賀共済病院麻酔科	基礎研究: Depressant と Convulsant Barbiturate はともに神経型ニコチン受容体を抑制する
第3回 (1998年)	沼崎 満子	筑波大学附属病院麻酔科	臨床研究: 小児における術後嘔吐作用に対するグラニセトロン(カイトリル)の至適投与量の検討
第4回 (1999年)	小原 健	横浜市立大学医学部附属浦舟病院麻酔科	術中心電図の間接モニタリング
第4回 (1999年)	木下 浩之	日本赤十字社和歌山医療センター 麻酔科	メキシレンはATP感受性カリウムチャネルを介して、ニトロプルシドによるラット大動脈の弛緩反応を増強する
第5回 (2000年)	林 和子	京都府立医科大学麻酔学教室	Ees/Ealによる駆出率(EF)の推定
第5回 (2000年)	吉川 真由美	奈良県立医科大学麻酔科学教室	Mオピオイド受容体遺伝子発現調整機構のRas依存性~オピオイドの身体依存性に関連して~
第6回 (2001年)	馬場 洋	新潟大学医学部麻酔科	GABA抑制系の脱抑制による脊髄後角浅層部の興奮性シナプス伝達の変化
第6回 (2001年)	井上 聡己	奈良県立医科大学麻酔科学教室	脳外科手術中における軽度低体温療法時のアムリノンは冷却及び復温速度を増加させる
第7回 (2002年)	中川 雅史	大阪府立成人病センター中央手術科(麻酔科)	術前禁煙期間と術後呼吸器合併症の頻度
第7回 (2002年)	谷口 巧	金沢大学医学部附属病院ICU	Ketamine inhibits endotoxin-induced shock in rats
第8回 (2003年)	鈴木 高広	大阪大学大学院医学研究科生体機能調節医学講座	吸入麻酔薬はヒト5-HT3受容体に対しても強増もしくは抑制作用を示す
第9回 (2004年)	有馬 一	岡崎市民病院 麻酔科	Hyperosmolar Mannitol Stimulates Expression of Aquaporin 4 and 9 through a p38 Mitogen Activated Protein Kinase-Dependent Pathway in Rat Astrocytes
第9回 (2004年)	橘 一也	国立循環器病センター 外科系集中治療科	Noninvasive cardiac output measurement using partial CO2 rebreathing is less accurate at settings of reduced minute ventilation and when spontaneous breathing is present.
第10回 (2005年)	河野 崇	徳島大学医学部附属病院麻酔科-医員	Molecular mechanisms of the inhibitory effects of propofol and thiamylal on sarcolemmal adenosine triphosphate-sensitive potassium channels
第10回 (2005年)	境 徹也	長崎大学医学部麻酔学教室	経皮的リドカインによる分離神経遮断の作用特性
第11回 (2006年)	萩野 祐一	群馬大学附属病院麻酔神経科 医員	ヒト痛覚の体部位再現 - 脳磁図を用いて Somatotopy in Human Primary Somatosensory Cortex in Pain System
第11回 (2006年)	佐藤 友紀	自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座麻酔科学部門 助手	全身麻酔薬の中樞神経作用メカニズムにおけるNMDA受容体の関与
第12回 (2007年)	天谷 文昌	京都府立医科大学大学院医学研究科 麻酔学教室	末梢知覚神経における神経性マリファナ受容体の発現と疼痛治療への応用
第12回 (2007年)	住谷 昌彦	大阪大学大学院 医学系研究科生体統御医学 麻酔集中治療医学講座	病的痛みと視覚は相補的である
第13回 (2008年)	水島 敏行	大阪府立呼吸器 アレルギーセンター麻酔科	一次知覚ニューロンにおけるERK5の活性化は急性侵襲性疼痛に関与する
第14回 (2009年)	(臨床の部) 村田 寛明	長崎大学医学部・歯学部附属病院 手術部・助教	三次元CTによる胸部硬膜外穿刺の難易度の評価
第14回 (2009年)	(基礎の部) 石関 淳子	群馬大学医学部附属病院麻酔科 蘇生科・助教	Amnestic concentrations of sevoflurane inhibit synaptic plasticity of hippocampal CA1 neurons through GABAergic mechanisms
第15回 (2010年)	里元 麻衣子	防衛医科大学校 再生発生学講座 研究科学生	Neonatal Exposure to Sevoflurane Induces Abnormal Social Behaviors and Deficits in Fear Conditioning in Mice
第16回 (2011年)	古谷 健太	新潟大学医学部総合病院 麻酔科 医員	脊髄後角でのNMDA型グルタミン酸受容体に対する局所麻酔薬の抑制作用
第16回 (2011年)	柴崎 雅志	京都府立医科大学 麻酔科学教室	エコーによる小児気管チューブサイズを選択
第17回 (2012年)	(基礎の部) 廣瀬 佳代	独立行政法人 国立病院機構 高知病院	イソフルランによる心筋保護効果におけるO-Linked $\beta$ -N-acetylglucosamineの役割
第17回 (2012年)	(臨床の部) 山内 浩揮	刈谷豊田総合病院	高濃度吸入気酸素濃度は動脈血-呼吸終末期二酸化炭素分圧差と肺胞死腔を増加させる
第18回 (2013年)	(基礎の部) 小嶋 亜希子	滋賀医科大学 麻酔学講座	Presence of store-operated Ca <sup>2+</sup> entry in C57BL/6J mouse ventricular myocytes and its suppression by sevoflurane Inhibitory effects of sevoflurane on pacemaker activity of sinoatrial node cells in guinea-pig heart
第18回 (2013年)	(臨床の部) 下山 雄一郎	松下記念病院 麻酔科	Perioperative risk factors for deep vein thrombosis after total hip arthroplasty or total knee arthroplasty
第19回 (2014年)	(基礎の部) 高榎 由美子	防衛医科大学校 麻酔学講座・研究科学生	Neonatal exposure to sevoflurane in mice causes deficits in maternal behavior later in adulthood
第19回 (2014年)	(基礎の部) 木村 雅文	群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科・助教	Relief of Hypersensitivity after Nerve Injury from Systemic Donepezil Involves Spinal Cholinergic and $\gamma$ -Aminobutyric Acid Mechanisms.
第19回 (2014年)	(臨床の部) 末廣 浩一	大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔科学 医員	Systemic Vascular Resistance Has an Impact on the Reliability of the Vigileo-FloTrac System in Measuring Cardiac Output and Tracking Cardiac Output Changes
第20回 (2015年)	(基礎の部) 澤田 敦史	札幌医科大学医学部麻酔科学講座 特任助教	Suppression of bone marrow-derived microglia in the amygdala improves anxiety-like behavior induced by chronic partial sciatic nerve ligation in mice
第20回 (2015年)	(基礎の部) 石田 公美子	信州大学医学部麻酔蘇生学講座 助教	Calcitonin gene-related peptide is involved in inflammatory pain but not in postoperative pain
第20回 (2015年)	(臨床の部) 吉田 敬之	新潟大学医学部総合病院手術部 医員	Effects of ropivacaine concentration on the spread of sensory block produced by continuous thoracic paravertebral block: a prospective, randomized controlled, double-blind study
第21回 (2016年)	(基礎の部) 齋藤 貴幸	順天堂大学医学部附属順天堂医院麻酔科・ペインクリニック講座 助手	Resolution of Inflammation by Resolvin D1 Is Essential for Peroxisome Proliferator-activated Receptor- $\gamma$ -mediated Analgesia during Postincisional Pain Development Type 2 Diabetes
第21回 (2016年)	(臨床の部) 石田 高志	信州大学医学部麻酔蘇生学教室 診療助教	McGRATH MAC video laryngoscope for insertion of a transoesophageal echocardiography probe
第21回 (2016年)	(臨床の部) 中山 力恒	京都府立医科大学附属病院 麻酔科学教室	トロンボエラストメトリーを用いた術中止血管理は小児心臓外科手術における術後出血量及び術後輸血量を減少させる
第22回 (2017年)	(臨床の部) 石垣 さやか	防衛医科大学校麻酔学講座 医学研究科学生	Saline Flush After Rocuronium Block Reduces Onset Time and Prolongs Duration of Effect: A Randomized Clinical Trial
第22回 (2017年)	(基礎の部) 松田 愛	京都府立医科大学大学院医学研究科 麻酔科学大学院生	p38MAPKに誘導されるEPACは一次知覚神経において術後痛の遷延上に関与する
第23回 (2018年)	(基礎の部) 大橋 直子	新潟大学医学部総合病院 麻酔科 助教	Acetaminophen Meibolite N-Acylphenolamine Induces Analgesia via Transient Receptor Potential Vanilloid 1 Receptors Expressed on the Primary Afferent Terminals of C-fibers in the Spinal Dorsal Horn
第23回 (2018年)	(臨床の部) 平林 政人	島根大学医学部附属病院 麻酔科	Prophylactic Pentazocine Reduces the Incidence of Pruritus After Cesarean Delivery Under Spinal Anesthesia With Opioids: A Prospective Randomized Clinical Trial
第24回 (2019年)	(基礎の部) 角 千里	関西医科大学附属病院 麻酔科	プロポフォールはミトコンドリアの電子伝達系を介して代謝を解糖系にシフトさせて細胞死を誘導する
第24回 (2019年)	(臨床の部) 向井 信弘	京都中部総合医療センター 麻酔科 委員	血小板内microRNAの発現変化は人工心肺後の血小板機能異常症に関連する
第25回 (2020年)	(基礎の部) 松岡 豊	京都府立医科大学大学院 疼痛・緩和医療学教室 助教	NLRP2 inflammasome in dorsal root ganglion as a novel molecular platform that produces inflammatory pain hypersensitivity.
第25回 (2020年)	(臨床の部) 米倉 寛	三重大学医学部附属病院 臨床麻酔科 助教	Preoperative Echocardiography for Patients With Hip Fractures Undergoing Surgery: A Retrospective Cohort Study
第25回 (2020年)	(臨床の部) 村上 千晶	徳島大学大学院 麻酔・疼痛治療医学分野 助教	Effects of Nicorandil Versus Nitroglycerin on Arterial Oxygenation During Two-Lung Ventilation and One-Lung Ventilation in patients With Risk Factors for Myocardial Ischemia: A Prospective, Randomized, Double-Blind Study